

新築園舎の施設について

徳島大学学芸学部附属幼稚園

岩佐崇子

明治二十六年に徳島県尋常師範学校付属小学校幼稚科として幼児教育施設が設けられてから六十年余の長い歴史の上に現在の徳島大学学芸学部附属幼稚園は歩みをつづけているのであります。この間昭和二十年七月には戦災にあいましたがその翌翌月の九月一日から早速園舎なしの青空幼稚園を開き翌年二月はじめまで保育を続行したのであります。これには相当の困難が伴ったことは申すまでもありません。しかし最も心配した幼児たちの健康については戸外生活によりかえて暑さ寒さに耐えうる抵抗力が自然のうちに養われたのか病気になる幼児がほとんど認められなかったのであります。

この園舎のない青空幼稚園から、小さいながらも仮園舎が与えられ、又次には小学校校舎の一隅を仮住いとして移ったのであります。そして昭和三十年十二月十六日に私共は長年宿望の新築園舎が竣工しここに移転いたしました。

この新園舎建築に当っては文部省はもとより当園の幼児をとりかこむ多くの人々の絶大な協力、援助のありましたことは申すまでもありません。私共は多くの人々の真心によるこの新園舎で幼児と共に生活できることを、十年前の当時から考えてただ有難いと思うばかりであります。

城山を背景に自然的環境に恵まれ、町の騒音から遮断された健康安全な位置にあります。当園は、まことに幼児の樂園に恥じない最適な場所であると思っております。

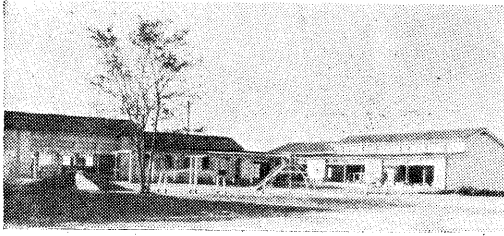
ここに新園舎の配置図と園舎内外の写真正その簡単な説明の上に更に幼児の生活面から考えてみてささやかながら私共の幼稚園の姿を述べてみたいと思ひます。

一、配置図

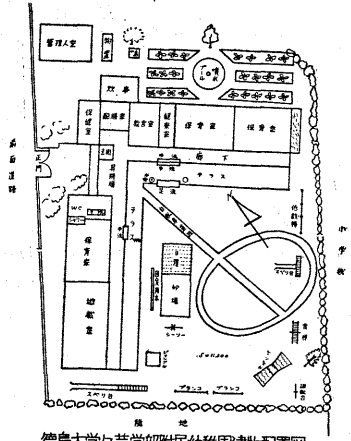
二、写真とその説明並びに幼児の生活場面から

1. 全 景

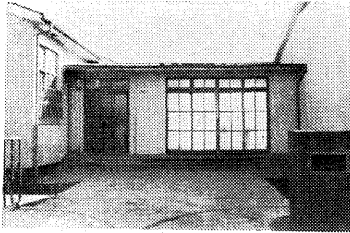
木造平家建、一三七・七八坪外壁、地下



ス張モルタル塗色
吹付仕上
屋根、厚型スレ
ート葺（グリーン
色）一部瓦葺葺（ベ
ンキ塗仕上、テラ
スコックリート
打、モルタル塗、
目地切仕上一部戸
外黒板（三尺×六
尺）として三ヶ
所、モルタル饅磨



徳高大学々芸学部附属幼稚園建物配置図



2. 門及昇降場

この使用については普通黒板用のチョコ
ークと黒板ふきを用意し、いつでも自由にく
つろいで描けるように幼児の身近な親しみの
多い処へこれを取設けたのであります。

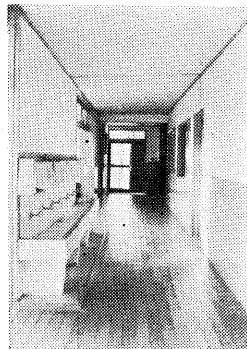
門柱リシン仕上、
門扉パイプ製ベン
キ塗仕上。
舗床コンクリート
打、モルタル塗、
目地切仕上。昇降
場、床人造石研出
仕上、腰モルタル

腰ベニヤ板（厚六耗）張。壁色漆喰塗天井フ
ラスターボード・水性ペンキ塗。総体モザイ
クタイル貼の水洗所を二ヶ所。
給水栓は泡沫式カラシナ二個を使用し幼児が
楽に使用できるようにす。なお上部に携帯用
で幼児の個人コップ掛けを設備す。
このように幼児が使いやすいように場を整
え手洗い、うがいの徹底と衛生的給湯など健
康生活に留意しあわせてよい集団生活態度を
養うよう配慮しているのであります。

仕上げとす。
塗装、内外木鉄部共油性ペンキ三回塗仕
上。
幼児に戸外黒板を自由に使用させて思いき
りのびのびと描き幼児の内にあるものの表
現活動を活発にさせようと考えたのであり
ます。

塗、天井プラスチックボード水性ペンキ塗。
下駄箱は両側へ取付。玄関、床鉄平石。七三
開ガラス戸ニス塗仕上

3. 廊下



床フナ
フロー
リング
張、ワ
ックス
仕上。

幼児用ロッカー（兩具並びにコート置物）は出窓式とし床垂鉛鍍鉄板張、隅に排水孔を取設く鋼管に吊鉤でコートを吊す。

4. 保育室

室内仕上廊下と同断、周囲壁の内法高さでテックス張りとし掲示板に使用す。ロッカーは出窓式に取設く。幼児個人用抽出、幼児用材料用具戸棚並びに遊具戸棚は出窓式ロッカーと同じ高さとし保育室に取付けとす。

ロッカー並びに戸棚、幼児個人用抽出上の天板は幼児の視覚に訴えるに適当な高さを保ち、ここに観察用教材、幼児作品、鑑賞材料その他幼児の視覚に訴えて教育的効果のあると思われるものを置くなど、教師は幼児と共に教育的立場からその場をいろいろに使用して生活を豊かに発展しようと考えたのであります。

なお幼児用のロッカー、整理戸棚は幼児の持物や作品、その他必要な個人の物が広々と納められるよう配慮したのであります。

なお幼児用教材用具、遊具戸棚を幼児に自由に使用させて、自己活動を旺盛にしようと考えたのであります。ここでは幼児がいつでも必要な時に使えるように常に戸棚の内部を充実するとともに使いやすく整理して個々の幼児の興味や要求、必要を自由な生活の中にじゅうぶん満してやるようにしているのであります。

保育室は南側廊下まで延長して広く使えるように考えて廊下側の保育室の戸はすべて戸袋に納められるようにしたのであります。

なお室内の音響調整や色彩、それに清潔な床などに細かい注意をはらって幼児がやすらぎの中に生活がすすめられるよう落付いた安定感を持たせるとともに幼児のたのしい生活の場を構成しようと考えたのであります。

幼児用椅子、机は幼児の成長発達に即して専門的に研究とくふうを重ね、個人椅子、長椅子、二人用机を用意しその生活の場をその時に合わせて適宜構成できやすいように考え

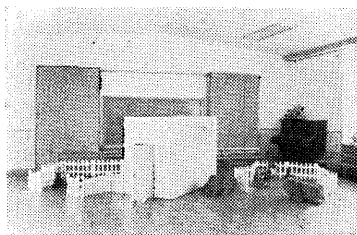
たのであります。

5. 観察室

室内仕上は保育室と同断、マジック鏡は三尺×五尺を取付ける。

幼児の教育はまず幼児を理解することからと考えて私共や幼児の保護者並びに幼児を研究しようとする人々によってじゅうぶん活用されているのであります。

6. 遊戯室

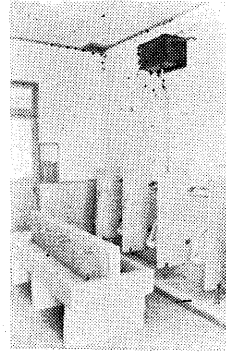


室内仕上は保育室と同断、正面に引分式映字板を取設け左右戸袋内に納める。掲示板はホモゲンホルフ板製ラッカー仕上。電燈蛍光灯四〇ワツ

ト八本を二列にして天井内に嵌込遊戯室のロッカーには遊戯室のあそびに必要な遊具、大積木、運動用具、リズム楽器、その他その時

の幼児の状態を考へて單元活動を促すための遊具を用意して納めておく。幼児たちはロッカー内のものを自由に使つて楽しい生活を個人やグループで展開しているのであります。

7. 便所



床、腰共モザイクタイル貼壁色漆喰塗、

天井プラスチックボード張水性ペンキ塗。シャワー室洗濯室を併用す。手洗は総体モザイクタイル張、泡沫式給水栓を付ける。浄化槽はフルタ式。

8. 遊園・配置図参照

全体に芝生を植付け、各遊具は配置図の通りとす。自転車道路は巾四尺コンクリート打モルタル塗仕上

この自転車道路はのりものあそびなどにも

広く使い道路通行のきまりを知る経験の場でもあり、鬼あそび、ボールあそびなどにもよく又園庭芝生のためまりつきの場合にも適しこころを利用していろいろなあそびが発展的に行われるのであります。特に危険を防ぐため道路は園庭に埋められ芝生が道路横までのびているのであります。

足洗場はコンクリート打モルタル塗仕上、底浅深二段とし排水孔を二ヶ所取設く。足洗用噴水式パイプは径吋亜鉛鍍鋼管で径耗の水孔を二段一〇纏間隔千鳥に取設け床天より十二寸高さに水平に取付く、長さ二米とす。なお足洗場の水槽は遊具などの洗場にて兼用している。

9. 観察園 配置図参照

花壇は周囲赤練瓦を小端立に埋込む。プールはコンクリート打モルタル塗仕上、内部防水モルタル塗中心に噴水を取設く、排水は四寸陶管を埋没す。飼育小屋は木造屋根波型鉄板葺、外部木鉄部ペンキ塗仕上、床コンクリ

ート打、モルタル仕上、床排水を付す。

飼育小屋の設備はすべて幼児が動物の世話をするに便利なように作ったのであります。

ここで幼児たちは飼育動物を世話し又その手伝いをし心から動物に親しませるよう努めています。

以上建物がやっとできた程度で内容設備はこれからという私共の新築園舎について簡単に述べてみました。この建築にあたりあらゆる角度から専門的に研究し、幼児の幸福のためにでき得る範囲内においてその能力を最大限度に發揮できるように考へたのであります。

幼児は伸びようとする力とそれととりまく環境とが一つになって成長することを考へて今の幼児の成長のために私共は与えられた施設、設備を完全に幼児の生活の場に生かして生きた環境の中で幼児のもつ興味、要求、必要を満し幼稚園教育目標達成のために精進しているのであります。

